

一貫教育校を今後10年で50校へ



ICO 新聞

8月吉日

月刊

発行所
大阪市西区江之子島1-7-3
奥内阿波座駅前ビル512号



いよいよICOスクール構想が本格的に始動を始めた。このICOスクールでは、小・中・高と一貫した教育を行う学校を今後10年以内、ベトナム全土50カ所に建設する予定である。まずはグループ本社のあるバクザン県バクザン市において、60,000㎡の広大な敷地に3,600人が学ぶことの出来る建物を2018年から建設する。開校は2020年を予定している。また将来的には、ICOグループの柱である海外留学部門と2本の柱に成長させ教育分野における総合的な人材育成を行うことを目指している。今後ICOグループでは、スケールメリットを生かし

他の大学や専門学校との連携をこれまで以上

に深め、ICO Edu (留学生)・ICO Manpower (技能実習生)などと連携させていくようだ。これは今まで以上に、高い能力のある人材を数多くご紹介できるようになっていくものだと考えている。

さらにICO Human Resourceなる総合人材育成の部門も設けて人材の管理体制も整備された。このように教育的な側面から、多角的な人材育成にアプローチしているICOグループに今後も期待が寄せられている。

学校長と懇親パーティ開催

現在ベトナム全土から、ICOと提携している高等学校の校長先生が約200名来日(昨年130人)しており、夏休み期間を利用し、約1週間かけて各地にある日本語学校や専門学校などを視察・訪問中である。そんな中7月30日(月)には、東京サンシャイン60内でICOジャパン主催のGALAパーティを開催し各地の校長先生との交流を深めた。来年は、さらなる来日を見込んでいる。

